

令和 6 年度 東京都立王子総合高等学校 学校経営報告

1 今年度の取組目標に対する成果と課題

今年度の経営テーマ 「愛される学校づくり」という大きなビジョンを掲げ、これまでの王総ブランド（特色・魅力）を堅固にしつつ、新たな課題解決（時間割再構築、募集対策強化、進路実績UP）に向け、リスク管理を行いながら、アジャイル（走りながら考え）し、寛容の精神をもち、パラダイムシフト（枠組みの転換）を前向きに捉え、組織が一枚岩となって取り組む。

自己評価の基準

【A】：十分達成できた 【B】：概ね達成できた 【C】：あまり達成できなかった

（1）取組目標の成果と課題

取組目標の評価	成果と課題
1 学校組織マネジメントを意識した学校経営 【B】	① 年度当初に「学校経営計画」に加え「学校経営戦略」により本年度の課題について共通認識をもつことができた。 【課題】具体的な目標を決め、組織的に問題意識を持って取り組む。 ② DXPT、働き方 PT、英検 PT、研修旅行 PT、模試 PT を起動し、主幹教諭を核として、分掌、教科を横断した組織による改革に取り組むことができた。 【課題】人材育成、特にミドルリーダー育成につなげること。 ③ 学校評価アンケートは、①生徒のみ中間実施、②保護者回収率 20%増、③地域依頼箇所 40 か所増とし、結果のみならず、課題の分析・考察を生徒、保護者、HP に公開した。 【課題】設問の見直し、保護者回答率UPなどの改善点を 7 月末までに決める。 ④ 管理職による予算査定により、必要な支出の見極めをすることができた。 【課題】年間を通して要望や予算執行率を把握する。補正ヒアリング実施。
2 カリキュラム・マネジメントを意識した教育課程と評価 【A】	① 総合学科の複雑な時間割のアップデートと再構築を急ピッチで実施できた。 【課題】時間割や履修登録の改善、教育ダッシュボード導入推進。 ② 新科目設置、シラバス編成、指導と評価の一体化を目指したループリックと評価規準を推進できた。 【課題】さらに全科目の年間指導計画、観点別評価のためのループリック作成。 ③ 各教科の観点別評価についてヒアリングし問題点を検討できた。 【課題】教務規程の改善、教科の特性を重視しつつ統一した評価方法の確立。 ④ 新カリ全年次実施に計画通り対応できた。 【課題】生徒の実態、先進校視察、他校との比較により改善計画を立案。
3 Tokyo スマート・スクール・プロジェクトの実現 【B】	① 全年次一人 1 台端末所持となりデジタル活用の授業が増えた。DX ハイスクール予算でバッテリー不足を補う対応ができた。 【課題】生徒の端末に対する活用意識向上や、学び方・教え方改革の推進。 ② オンライン授業では双方向、グループ活動、実習教科でも実施が実現した。 【課題】生徒、教員の満足度を上げるための校内外研修によるスキルアップ。 ③ C4th、リアテンドントなどの成績処理や庶務事務システム、コンディションレポート、教員ポータル、Step3.0 移行など校務支援システムによる DX 推進、

	負担軽減ができた。 【課題】教育活動を記録する教育ダッシュボード、個人カルテの周知、活用。 ③ O365 の周知や Teams をコミュニケーションツールとした各種連絡、授業、家庭学習の工夫が定着した。チャットやFoamsによるアンケートは定着した。 【課題】一斉連絡方法の散在、認知度低、校内外研修によるスキルアップ。 ④ 職員会議フリーアドレス化までに、ペーパーレス化、校内 Wi-Fi 強化。 【課題】新たに企画資料ペーパーレス化など教育DXの推進。
取組目標の評価	成果と課題
4 特色化を意識した教育課程の編成 【B】	① 時代のニーズに応える魅力・特色のある新規科目「マナーリテラシー」「DPT デザイン」設置や再編成することができた。 【課題】次年度も追加検討。特に DX ハイスクール推進の情報系科目再編。 ② 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラムの取組みとして、総合学科の活性化を図るため、NPO と連携し、1 年次「産業社会と人間」2 年次「総合的な探究の時間」3 年次「課題研究」を補強することができた。 【課題】連携がなくなっても継続・維持できる体制づくり、指導内容の構築。 ③ 文部科学省採択の DX ハイスクールとして、データサイエンス系列を強化し、情報Ⅱ等（情報Ⅱの内容を含むことにより指導内容を充実させた職業系の教科・科目を含む）受講者を増やすことができた。理系チューター、高大接続による講演会を実施。 【課題】STEAM 教育のさらなる効果検証やPR 強化。
5 国際交流とグローバル人材育成の推進 【A】	① 2, 3 年次において、英語以外にフランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、韓国・朝鮮語を選択できる王総グローバルランゲージを実践 【課題】履修率を上げるため、講師、受講生徒による魅力ある授業PR を強化。 ② 校内英検全員受検を無料で支援できた。 【課題】事前指導の強化。英検指導の組織的対応。 ③ 海外学校間交流推進校として姉妹校とのオンライン交流4 回実施、グローバルな視野を実体験させるための第1 回韓国修学旅行実施し生徒満足度96%。 【課題】予算額上限撤廃や補助金の早期解決や支援団体への積極的な働きかけ。 ④ 「TGG サマーキャンプ」17 名、「英語でジョブチャレンジ2024」3 名、「東京体験スクール」留学生4 名、など積極的に参加、組織的に対応できた。 【課題】募集時の説明会や保護者連絡、国際交流委員会の指導・意欲喚起。 ⑤ 14 期生対象の韓国研修旅行実施までのプロセスを丁寧に対応し、約17 名が応募に至る。研修旅行PT を立ち上げ、組織的な対応ができた。 【課題】事前事後学習を計画的に進め、生徒・保護者の理解を得ること。
6 人財育成と働き方改革 【B】	① 校内若手教員研修において、校内研修時間の量と質の改善、研究授業見学、研究協議会参加の意識向上、指導主事訪問の活用ができた。 【課題】相互授業見学・指導の形骸化改善、若手教員のさらなる負担軽減。 ② 主任教諭選考並びに管理職選考受験候補者を個別に育成できた。 【課題】職層別OJT やリーダー育成の外部研修への積極的参加働きかけ。 ③ 先進校視察のため、・総合学科全国研究大会3 名、・防災研究大会1 名、・進学指導研究校5 名、・総合学科パイオニア校2 名、計11 名を派遣できた。 【課題】前年度に予算化し年度当初に計画が必要 ④ 職員会議B を4 回実施、①キャリア教育理解、②模試分析会、②拡大分掌会、③入選業務理解として実施できた。 【課題】年度当初に年間計画提示が必要。年間行事計画に追記する。

(2) 管理職、分掌、年次、PTの成果

【管理職マネジメントの成果】

- (1) 企画、職会へのリアルタイムな提言、数値分析、資料提示による視野拡大、問題意識強化。
- (2) 5つのPT立ち上げ、提言、決定迅速。ミドルリーダー育成。
- (3) 模試分析会、進路希望調査、NP0連携見直し、日直の朝の見守り強化、学運協報告重視、統一。
- (4) DXハイスchool、英検全員受検、海外学校間交流推進校、東京体験School、エンジョイスポーツ等の推進校充実。
- (5) 若手教員校内研修、研究授業、研究協議会での指導助言、指導主事7名一斉訪問実施。
- (6) 学校評価アンケート：生徒2回実施、保護者回答増、教職員100%、地域50か所依頼。学校HP掲載。
- (7) 学校外勤務時間間票隔月発行、最終下校時間30分繰上げ、部活動活動計画一覧見える化徹底。
- (8) 校内人事・部活動顧問ルール見直し、校内人事12月発表、部活動顧問・委員会担当2月発表。
- (9) 部活動、ボランティアの応援、リアルタイムに学校HP、インスタに投稿。更新回数増。
- (10) 毎朝正門見守り、花咲くプランター設置、10月より日直業務として教職員による朝の正門見守り。
- (11) 学校通信「王総Newsletter」毎月発行、学校HP・Instagram・生徒Teams・保護者クラブ更新増。
- (12) 中学校、塾出前説明7回（大塚ゼミ、荒川第一中、第七中、加賀中、西池袋中、柏葉中、伊興中）
- (13) 塾対象説明会、学校案内会、見学会、説明会にて校長説明30分×24回実施。
- (14) 韓国修学旅行、研修修行の策定、韓国姉妹校交流充実、韓国教育院、韓国観光公社との連携強化。
- (15) 大正大学との連携…教職講座講師、DXハイスchool講演会講師、R7「心理学」特別専門講師2名任用。

【分掌の成果】

- (1) 教務研究部…時間割、観点別評価、教務規律改善、オンライン学習デュー双方向充実、入選ミス0。
- (2) 生徒部…三大行事・生徒会活躍、いじめ対策・情報モラル・身だしなみ・ヘルメット着用指導強化。
- (3) キャリアデザイン部…産社・探究・課題研究の年次連携強化、ガイダンス充実。「キャリア通信」毎月発行
- (4) 総務国際部…広報委員活用、外部募集対策、部活動見学体験の活性化、国際交流・英検のスタートアップ。
- (5) 1年次…学校生活適応、防災士、TGGサマーキャンプ挑戦、積極的な国際交流、積極的な模試分析。
- (6) 2年次…韓国修学旅行成功、身だしなみ指導の徹底、積極的な進路希望調査。
- (7) 3年次…安定した最終年次、体育祭・桜橙祭での活躍、出願ミス0、卒業イベント。

【プロジェクトチームの成果】

- (1) DXハイスchoolPT…潤沢な予算活用、情報Ⅱ等履修増、理系チューター、大正大学と高大連携、次年度申請。
- (2) 英検PT…海外学校間交流校として全校生徒無料英検受検実施、英語科と総務国際部の連携。
- (3) 研修旅行PT…14期生海外修学旅行の代替として希望者による実施を計画。生徒保護者から理解。
- (4) 模試PT…10月進学指導研究校視察後に模試分析会実施、模試計画、ステイサブリ活用調査。
- (5) 働き方改革PT…主幹教諭による部活動顧問アンケート、最終下校時間繰り上げ。

2 来年度への課題と手だて

(1) 生徒の主体性を育む	授業はアクティブラーニングや探究活動を増やし、HR、学校行事、部活動、生徒会、委員会は生徒に委ねるマネジメント、主体性を育む教育活動を展開する。
(2) 授業改革	総合学科として、授業魅力UPの工夫と改善。生徒による授業評価実施。全科目年間指導計画、ルーブリック作成。デジタル活用推進。
(3) キャリア教育推進 進路実現につなげる	キャリア教育をストーリー化し自ら語れるようキャリアパスポートに一元化する。新たに本校キャリア教育リーフレット作成、校内研修、学校PRに活かす。定期的に進路希望調査を実施し、全校生徒の進路希望と模試結果が見える化し、生徒・教職員相互の進路実現分析の意識を高め、進路実績UPにつなげる。
(4) 生徒の心のケア、見守り、マナー・ルール指導	全教職員がカウンセリングマインドを持って生徒に接する。配慮や見守りが必要な生徒は組織的に共有、対応し保護者や外部機関と密に連携する。校内ルール・マナーを周知徹底し、全教職員が同一歩調で指導・支援する。
(5) 教職員のライフワークバランス実現	ライフワークバランス（生活と仕事の両立）実現のため、①顧問負担軽減 ②仕事のムダ・ムラをなくし平準化 ③職員室フリーアドレス化に向け、壁、物、紙を減らし、職場の風通しをよくし、仕事の効率化や意識改革を図る。

3 重点目標と数値目標の結果

重点目標	具体的な数値目標	達成数値
生徒・保護者満足度 【A】	学校評価アンケートとして、生徒は年2回実施。 生徒の学校満足度（肯定的評価） <u>85%以上</u> 保護者の学校満足度（肯定的評価） <u>85%以上</u>	<u>85.0%</u> <u>94.0%</u>
キャリア教育の充実 【A】	① 進路決定率 <u>95%以上</u> ② 4年生大学進学者数 <u>100名</u> ③ 大学入学共通テスト出願者 <u>40名</u> ④ 各種資格・検定試験合格者数 <u>250名</u>	<u>94.0%</u> <u>117名</u> <u>37名</u> <u>302名</u>
募集対策の充実 【B】	① 学校見学会・説明会の参加者 <u>2,500名</u> ② 応募倍率（推薦選抜） <u>2.20倍</u> （学力選抜） <u>1.50倍</u> ③ ホームページの1日当たりのアクセス数 <u>1,000回</u> ④ インスタグラム、ホームページの更新回数 合計 <u>300回</u>	<u>2,360名</u> <u>2.14倍</u> <u>1.18倍</u> <u>1,597回</u> <u>500回</u>
Tokyo スマートスクールプロジェクト 並びに「東京型教育モデル」の実現 【A】	① 暗記中心、チョーク&トークのパッシブな授業形態や過去の成功体験からの脱却した主体的・対話的で深い学びの授業実践 全教職員による実施 <u>100%</u> ② 校内 Wi-Fi を活用した ICT による全教職員による授業実践 <u>100%</u> ③ 全教職員による Office365 Teams の活用実践 <u>100%</u> ④ 電子起案率 <u>100%</u>	<u>100%</u> <u>100%</u> <u>100%</u> <u>100%</u>
働き方改革の実現 【B】	① 教職員の夏休消化率 <u>100%</u> ② 教職員の年次有給休暇15日以上取得率 <u>100%</u> ③ 各月の残業時間80時間超の教職員数平均 <u>0名</u> ④ 男性教職員の育児休暇取得及び育児短時間制度取得者数 <u>1名以上</u> ⑤ 全教職員のテレワーク取得率 <u>100%</u>	<u>100%</u> <u>54.5%</u> <u>3名</u> <u>0名</u> <u>43.0%</u>